

公表

事業所における自己評価考察票

○事業所名	はるの園 (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年10月10日		～ 令和7年11月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和7年9月25日		～ 令和7年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年10月10日		～ 令和7年11月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14か所	(回答数) 14か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成し、支援している。	子どもの園での様子等を保護者や園の先生方から十分に伺い、観察した上で、子どもの状況に合わせた個別支援計画を作成し、支援している。	研修等を通して、職員の更なるスキルアップにつなげる。
2	事業所の利用について、保護者に対して丁寧な説明を行っている。	分かりやすく丁寧な説明を心がけ、保護者の疑問や不安な気持ちに寄り添う姿勢を持って対応している。	保護者の気持ちに寄り添う姿勢を継続しながら、疑問や不安を伝えやすい雰囲気を作っていく。
3	園の先生方の質問に対して、適時・適切に回答している。	子どもや保護者、園の先生方の状況や気持ちに寄り添いながら、具体的な支援方法について、提案・共有するよう努めている。	職場内研修等を通して、訪問支援員の育成を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや家族向け研修会の周知・実施。	保育所等訪問支援のみご利用の方への周知を実施できていなかった。	園内での研修等について参加できるよう検討し、できる限り周知していく。
2	事業所で行っている活動等についての周知。	保育所等訪問支援のみご利用の方への周知は、面談等限られた中で、様々な必要な情報を共有するため、印象に残りにくい。	引き続き、ホームページやSNS等での発信について書面等で伝えるよう努める。
3	訪問支援員の育成。	具体的な取り組み等、個別적으로는適切な方法だとして提案しても、担任の負担となり課題が解決や解消にはなっていないとの意見もあった。	お子さんと共に担任の状況もしっかりと理解した上で、実施可能な方法が提案できるようにする。そのためにも、訪問前後で訪問支援員会議を引き続き実施し、園として情報を共有し、様々な意見や視点から検討していく。